

自立と共生の未来を拓く 心豊かでたくましい人を育む

～富良野市学校教育中期計画基本理念～

平成21年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平成21年10月 富良野市教育委員会

《保護者のみなさまへ》

- ・「全国学力・学習状況調査」は、学力の実態と、学力の背景として考えられる学習や生活状況を把握・分析し、改善を図るために全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に、文部科学省が実施したものです。
- ・富良野市内の小中学校で実施した、本調査の結果と対策について報告いたします。
- ・学校間の序列化や競争につながらない配慮をしております。
- ・「学力・学習状況調査」の結果を活用して、学校と家庭、地域社会が連携しながら、学力の向上や豊かな心の育成、規則正しい生活習慣の定着をめざしていきたいと考えています。保護者の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

学力調査の内容

教科に関する調査

<小学校>

○国語A(知識に関する調査)

漢字の読み・書き、ローマ字の読み・書き、はがきの書き方、報告文の書き方、表現の工夫をとらえる、段落の内容をとらえる、話し合いの計画的な進め方、一文を二文に分ける、毛筆の書き方

○国語B(活用に関する調査)

報告文の書き方、話し合いの計画的な進め方、効果的な読み方の工夫、説明の仕方の工夫

○算数A(知識に関する調査)

四則計算(加・減・乗・除、小数・分数)、十進位取り記数法、概数、偶数・奇数、長さの感覚、角の大きさ、図形の性質、三角形の面積、百分率(%)、資料の分類・整理

○算数B(活用に関する調査)

日常の事柄の観察と考察、日常の事柄の数学的な解釈と処理、情報の選択と判断の根拠の説明、資料の見方

<中学校>

○国語A(知識に関する調査)

話す:スピーチ、読む:文学的な文章・目次・短歌、書く:鑑賞文・連絡のメモ・提案する文章、言語や言語文化に関する知識・技能

○国語B(活用に関する調査)

情報を読む(図書館の案内図)、情報を整理する(発光ダイオード)、詩を味わう

○数学A(知識に関する調査)

比の意味、正負の数とその計算、文学式の計算とその利用、方程式の解き方とその利用、対称な図形と作図の利用、空間図形、平面図形(角)の性質、三角形の合同条件、証明、比例定数・座標、比例の表、反比例の意味と式、一次関数のグラフと式、二元一次方程式のグラフ、確率の意味と求め方

○数学B(活用に関する調査)

日常の事柄の数学的な解釈・判断・説明・問題の解決法、証明、情報の選択と判断(賞品当てゲーム)

学力調査結果の概要

各学校においては、これまでも各教科の教育内容の充実に努め、基礎・基本を確実に身に付けるための教育活動の創意工夫や弾力的な時間割の編成等の工夫改善に取り組みました。

その結果、本年度の小学6年生・中学3年生の学力はどの教科も昨年の平均正答率を上回り、全国平均正答率との差も縮まってきております。

特に、中学校の国語B、数学Bの活用に関する調査は、昨年より大きく平均正答率が上回っており、各学校における指導方法の工夫改善プランが、計画的に実践された成果が表れております。

一方、小学校では全道の平均正答率を上回っておりますが、活用に関する問題は全国より低い状況にあることから、今後も思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫に努めてまいります。

このことから学校と家庭との連携による家庭学習の習慣化が定着してきていることが伺えます。

生活習慣や学習環境調査結果の概要

○児童・生徒の状況

国語では、小学校、中学校ともに「国語の勉強が大切である」と考える児童生徒の割合は、全国とほぼ同様であり、特に「読書が好きである」と考える児童生徒の割合は高い傾向にあります。また、小学校では「国語の勉強は社会に出たときに役に立つ」と考える児童の割合も高い傾向にあります。

算数、数学では、小学校、中学校ともに「算数、数学の勉強が好きである」と考える児童生徒の割合や算数や数学に対する学習意欲も高い傾向にあります。

また、「将来に夢や目標を持っている」「人の役に立ちたい」「物事を最後までやりとげてうれしかった」「いじめはいけないことだと思っている」等は、全国よりも高い傾向にあります。

○学校の取組

全ての学校が調査結果を分析し、教育指導の改善に努めております。

例えば、学校の指導計画や取り組みを検討するにあたり、調査結果や報告書の内容を参考にすることや自校の調査結果を対象学年の教科だけではなく、学校全体で活用したり、調査問題を他の学年の授業の中で活用する等の取り組みをしております。

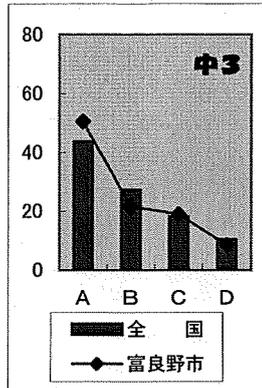
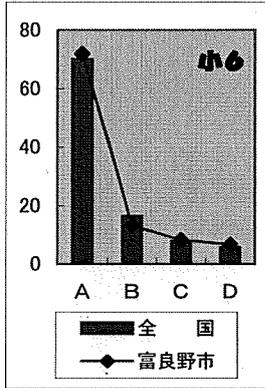
また、調査を活用した学校改善推進実践研究校等では「学校改善プラン」を作成した上での取り組みや、指導方法工夫改善加配による教員の配置や特別支援教育支援員の配置、退職教員等の外部人材を活用した指導方法の工夫改善に努めております。

学習状況調査の結果の概要 (富良野市)

Q1 将来の夢や目標持っていますか

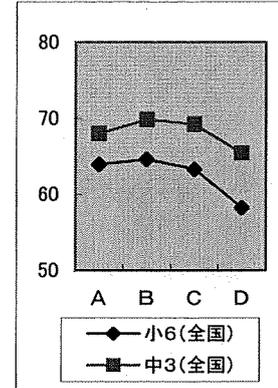
学力調査の平均正答率は全国の数値です。

児童・生徒の傾向
(たて軸はパーセント)



小6・中3とも全国に比べて高い傾向にあります。将来の夢や目標に向かって、目的意識を持って生活していることが伺えます。

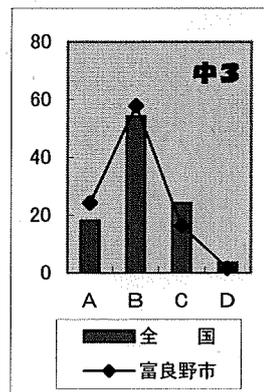
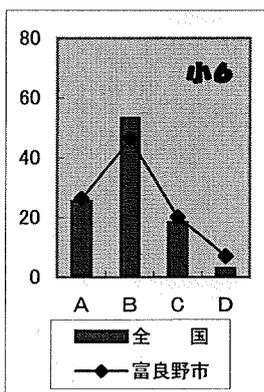
学力との関係
(たて軸は平均正答率)



A: 持っている B: どちらかといえば、持っている C: どちらかといえば、持っていない D: 持っていない

Q2 人が困っているときは、進んで助けていますか

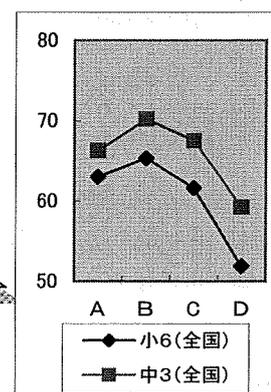
児童・生徒の傾向
(たて軸はパーセント)



手助けをしたとの回答が小6・中3とも高い傾向にあります。

思いやりのある子ほど、学力が高い傾向にあります。

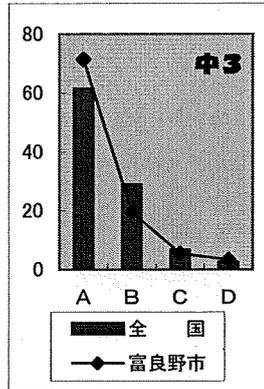
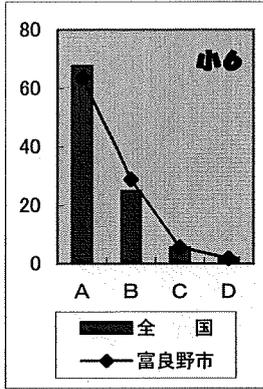
学力との関係
(たて軸は平均正答率)



A: 何度もあった B: 時々あった C: あまりなかった D: 全くなかった

Q3 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

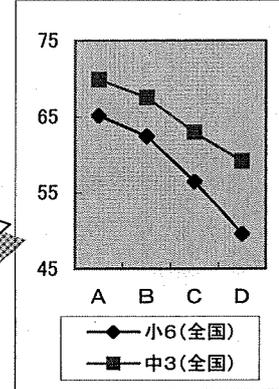
児童・生徒の傾向
(たて軸はパーセント)



小6・中3とも全国と比べて高い傾向にあります。

人の役に立つ人間になりたいと思っている子ほど、学力が高くなっていることが伺えます。

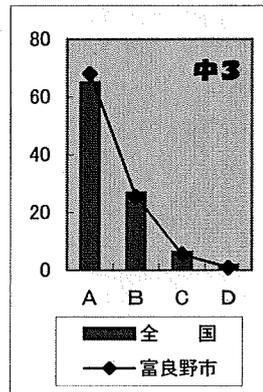
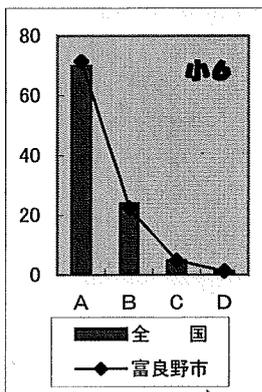
学力との関係
(たて軸は平均正答率)



A: 思う B: どちらかといえば、思う C: どちらかといえば、思わない D: 思わない

Q4 ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことはありますか

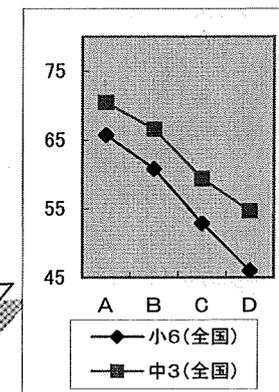
児童・生徒の傾向
(たて軸はパーセント)



小6・中3とも全国と比べて高い傾向にあります。

ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある子ほど、学力が高くなっていることが伺えます。

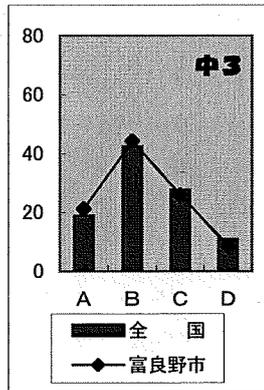
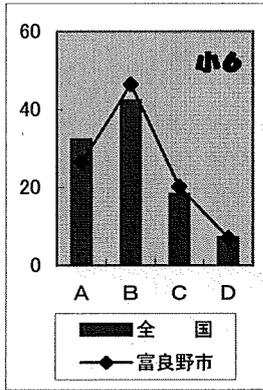
学力との関係
(たて軸は平均正答率)



A: ある B: どちらかといえば、ある C: どちらかといえば、ない D: ない

Q5 自分には良いところがあると思いますか

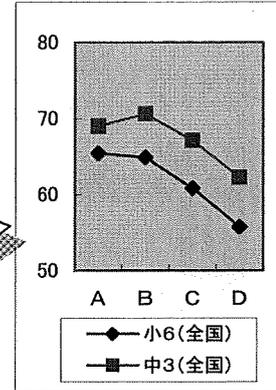
児童・生徒の傾向
(たて軸はパーセント)



中3は全国に比べて高い傾向にあります。

自分のよさを自覚している子ほど学力が高くなっていることが伺えます。

学力との関係
(たて軸は平均正答率)



A: 良いところがたくさんある

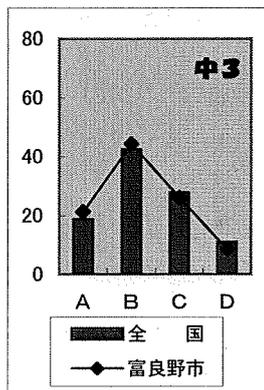
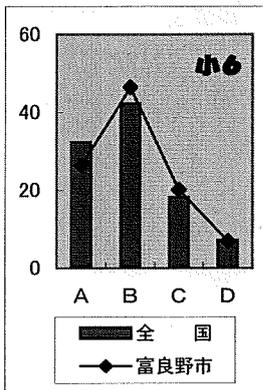
B: 良いところがある

C: 良いところはあまりない

D: 良いところはない

Q6 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

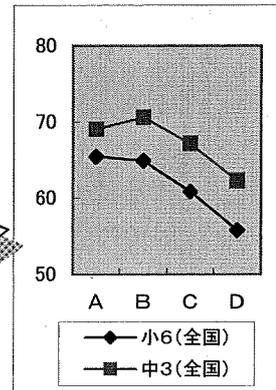
児童・生徒の傾向
(たて軸はパーセント)



小6・中3とも高い傾向にあります。

いじめを許さないと自覚している子ほど学力が高くなっていることが伺えます。

学力との関係
(たて軸は平均正答率)

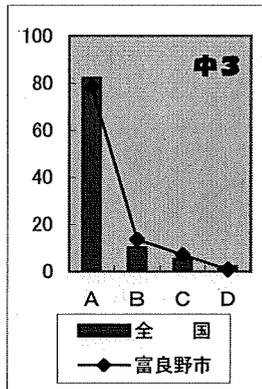
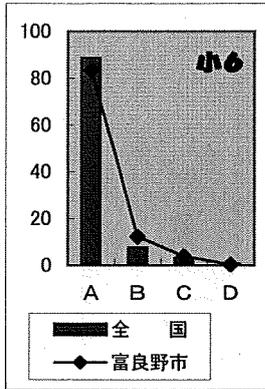


A: どんな理由があっても、いじめは許せない。 B: いじめは良くない C: 理由があればよい D: そんなことはない

* Q1～Q6は、全国・全道に比べて高い項目で、「心豊かでたくましい人」を育む富良野市の教育実践の成果が表れています。

Q7 朝食を毎日食べていますか

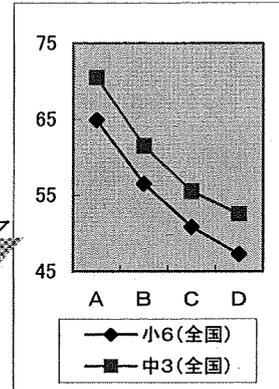
児童・生徒の傾向
(たて軸はパーセント)



全国と同様な傾向があります。

毎日朝食を食べている子ほど、学力が高い傾向にあります。

学力との関係
(たて軸は平均正答率)

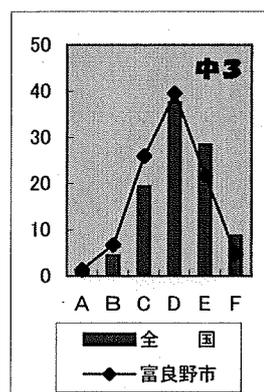
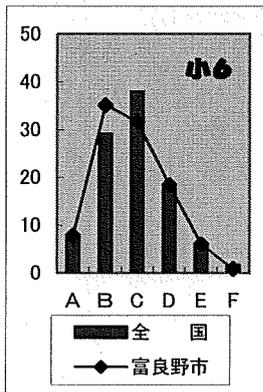


A: 食べている B: どちらかといえば食べている C: あまり食べていない D: 全く食べていない

毎日、朝起きたら、しっかり朝食をとりましょう！

Q8 平日の睡眠時間はどれくらいですか

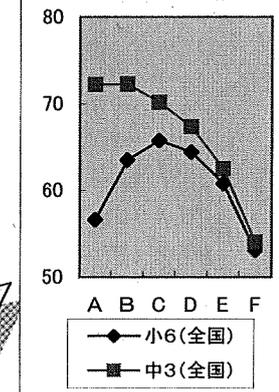
児童・生徒の傾向
(たて軸はパーセント)



「早寝、早起き、適度な睡眠」といった生活習慣は身につけている子供が多いようです。

小6で8～9時間、中3で9～10時間の睡眠をとっている子が、最も学力が高くなっています。

学力との関係
(たて軸は平均正答率)



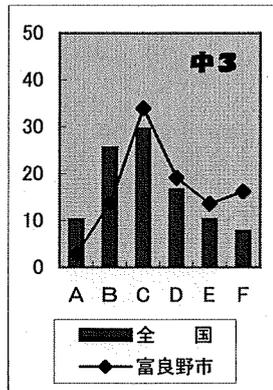
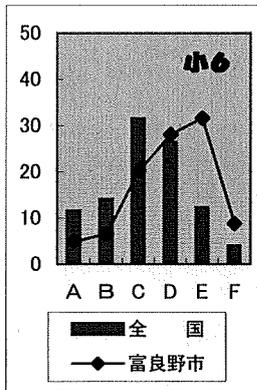
A: 10時間以上 B: 9時間～10時間 C: 8時間～9時間 D: 7時間～8時間 E: 6時間～7時間 F: 6時間未満

適度な睡眠をとり、早寝・早起きができる習慣を身につけましょう！

- * Q9・Q10の規則正しい食生活や生活習慣は、学力の向上ばかりでなく、健康や生活などすべての面で大切です。
- * なお、理想的な睡眠時間には、個人差があります。

Q9 平日、1日あたり、どれくらい家庭学習をしますか

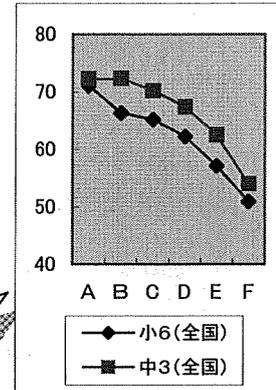
児童・生徒の傾向
(たて軸はパーセント)



全国と比較して、
家庭学習の時間は
少し短い傾向にあ
ります。

家庭学習の時間が
長い子ほど、学力
が高くなっている
ことが伺えます。

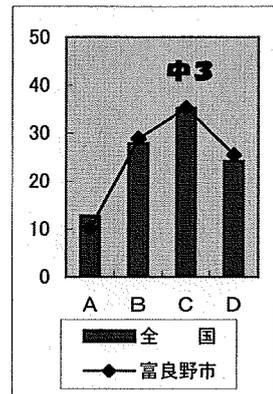
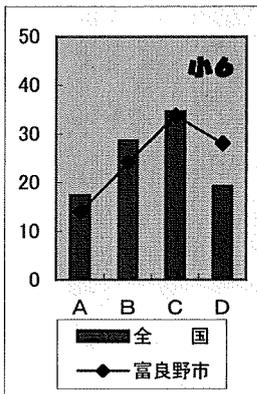
学力との関係
(たて軸は平均正答率)



A:3時間以上 B:2時間から3時間 C:1時間から2時間 D:30分から1時間 E:30分未満 F:全くしない

Q10 家で復習をしていますか

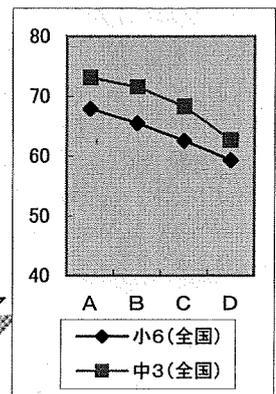
児童・生徒の傾向
(たて軸はパーセント)



全国と同様な傾向
にあります。

家で授業の復習を
している子ほど、
学力が高くなっ
ていることが伺え
ます。

学力との関係
(たて軸は平均正答率)



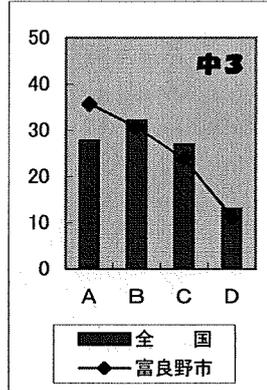
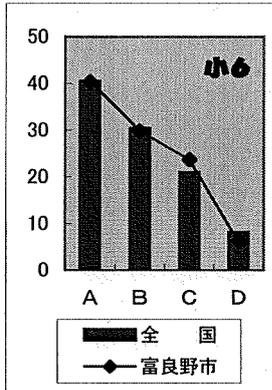
A:している B:どちらかといえばしている C:あまりしていない D:全くしていない

家庭学習は毎日計画的にしっかり取り組みましょう！

* 子ども達の夢や希望を実現するには、確かな学力を身につけなければなりません。そのためにも、Q9、Q10のとおり学校ばかりでなく家庭での学習が大切となります。

Q11 家の人と学校での出来事について話をしていますか

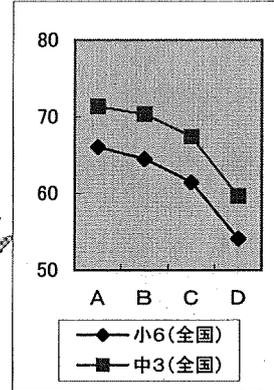
児童・生徒の傾向
(たて軸はパーセント)



全国と比較して望ましい傾向にあります。

家族や身近な大人の人とよく話をしている子ほど、学力が高い傾向にあります。

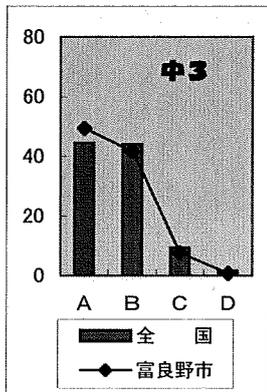
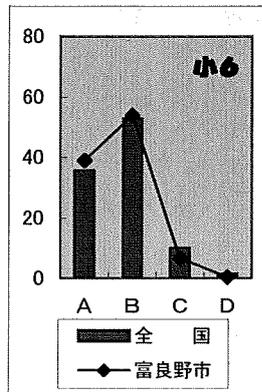
学力との関係
(たて軸は平均正答率)



A: 話をしている B: どちらかといえば話をしている C: あまり話をしていない D: 全く話をしていない

Q12 学校のきまりを守っていますか

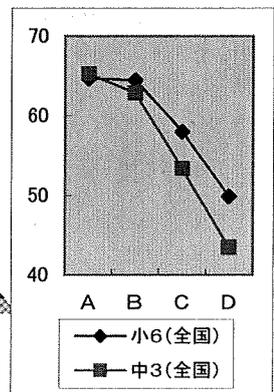
児童・生徒の傾向
(たて軸はパーセント)



守っている、どちらかといえば守っている子の割合は全国と同様な傾向にあります。

きまりをきちんと守っている子ほど、学力が高くなっていることが伺えます。

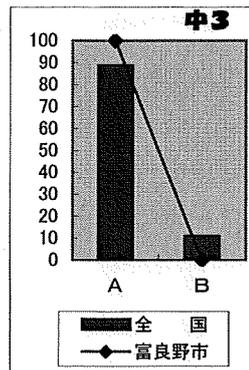
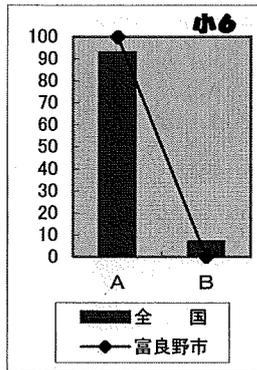
学力との関係
(たて軸は平均正答率)



A: 守っている B: どちらかといえば守っている C: あまり守っていない D: 全く守っていない

**Q13 平成20年度の全国学力・学習状況調査の結果を分析し、具体的な教育指導の改善に活用しましたか
(学校への質問紙より)**

小中学校での取組の傾向
(たて軸はパーセント)

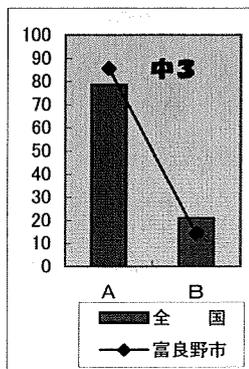
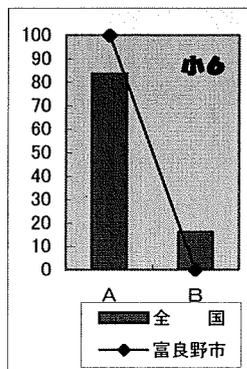


全国と比較して望ましい傾向にあります。
このような取組により、各学校では教育内容の充実に努め、基礎・基本を確実に身に付けるための取組に努めております。

A:はい B:いいえ

**Q14 平成20年度の全国学力・学習状況調査の自校の結果を調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で活用しましたか
(学校への質問紙より)**

小中学校での取組の傾向
(たて軸はパーセント)



全国と比較して望ましい傾向にあります。
このような取組により、各学校では教育内容の充実に努め、基礎・基本を確実に身に付けるための取組に努めております。

A:はい B:いいえ

「すべては子ども達のために」

【教育委員会では】

- 1 未来を担う子ども達が自ら学び、自ら考える力を育成します。
- 2 学力の確実な定着を図り、生きる力を育成します。
- 3 様々な体験や経験、スポーツ等を通じて社会性を身につけ、人格形成に努めます。

今後とも、教育環境の充実を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となった、学習・生活習慣づくりを推進していきます。

【学校では】

- 1 学習活動に創意工夫を加え、基礎・基本の一層の定着を図ります。
- 2 体験活動や課題解決的な学習を積極的に取り入れ、応用力・活用力の向上を図るとともに、児童生徒の発表の場面づくりを積極的に取り入れ自ら学ぶ意欲を持たせる指導を推進します。
- 3 読書活動の充実に向けて、市立図書館と学校図書室との連携を深め、朝読書等の活動を推進します。
- 4 学年に応じた児童・生徒の家庭学習対策に取り組めます。

【家庭では】

- 1 「早寝・早起きや朝ごはんをとる」習慣を身に付けさせましょう。
- 2 読書に親しむ環境づくりに工夫しましょう。
- 3 毎日、目標を立てて計画的に家庭学習（予習・復習など）に取り組みましょう。
- 4 ほめて、育てる、家庭教育に取り組みましょう。

【地域では】

- 1 他人を思いやる豊かな心や社会のルールを守る環境づくりを進めましょう。
- 2 地域の子ども達を守り育てる環境づくりを進めましょう。
- 3 「学校の応援団」として、学校支援ボランティアへの登録と支援をお願いします。

行政・学校・家庭・地域社会が連携し、確かな学力の向上に努めます。